

世界が日本に求める グローバルスタンダード、 そしてジャパンウェイ ースポーツ医学の視点からー

スポーツを取り巻く環境は大きな変革期を迎えているが、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックへ向け、世界が求めるグローバルスタンダードとは何なのか？また、ラグビーワールドカップ2015において歴史的快挙に挑んだチームを振り返り、ジャパンウェイとは何だったのか？チームドクターの経験から概説する。

日時

2016 **参加無料**

12/14 水

13:00~14:30

場所

コラーニング I
C201 教室

アクセス

JR 南草津駅から近江鉄道バス
「立命館大学」下車 (約 15 分)



高澤 祐治 氏

平成 6年 順天堂大学医学部卒業
平成12年 順天堂大学大学院修了
平成16年 イタリア ポローニャ大学附属Rizzoli病院整形外科留学
平成20年 順天堂大学整形外科講座 准教授
現在に至る
日本オリンピック委員会(JOC)情報・医・科学専門委員会委員
日本ラグビーフットボール協会医科学委員

講演会終了後、交流会を開催します。(参加無料・定員30名)
講演会に参加された方のなかで、交流会への参加を希望される方は、12月1日(木)までにご連絡ください。
宛先: rikouken@st.ritsumei.ac.jp
件名: 交流会参加希望
本文: 氏名、所属機関(学生の方は学部(研究科)、回生)

お問い合わせ

立命館大学 BKCリサーチオフィス
TEL:077-561-2631 FAX:077-561-2633 E-mail: rikouken@st.ritsumei.ac.jp